2023年 8月1日

社員各位

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 河合 俊宏

2023年度定時社員総会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、本協会の 2023 年度定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます(この資料を総会当日、必ずご持参ください)。なお、大変お手数をおかけいたしますが、総会をやむを得ず欠席される場合のみ、同封の「議決権行使書」に議決をご記入いただくか、「委任状」に必要事項をご記入いただき、ご署名又はご記名・ご捺印の上、8 月 18 日(金)必着で同封の返信用封筒を用いて郵送又はFAXにてご返送くださいますようお願い申し上げます。「議決権行使書」と「委任状」を両方ご提出された場合は、「議決権行使書」を優先いたします。

総会に先立ちまして、事前にご質問のある方は、下記の電子メールまたはFAXにて、所属と氏名を明記の上、送信をお願い申し上げます。忌憚のないお考え、ご質問をお願い申し上げます。8 月 18 日(金)到着分まで受付いたします。ご質問に対するお答えは、総会及び協会誌にてお伝えいたします。その際は、質問者の所属と氏名を公開いたしますのでご了承ください。

soukai-q@resja.or.jp

FAX:045−353−8365

質問者の個人情報につきましては、総会及び一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の活動にのみ利用し、外部へ情報提供することはありません。

敬具

記

日 時: 2023 年8月25日(金) 12:20〜13:20

場 所: 東京大学・先端科学技術研究センター 3号館南棟1F ENEOSホール
(第37回リハ工学カンファレンス in 東京 第1会場)
東京都目黒区駒場4丁目6番1号

議 案:

第1号議案 2022年度事業報告(案)	【資料1】
第2号議案 2022年度決算報告(案)/監査報告	【資料2】【資料3】
第3号議案 2023年度事業計画(案)	【資料4】
第4号議案 2023年度収支予算計画(案)	【資料5】
第5号議案 新役員の承認について	【資料6】

以上

【お問い合わせ先・議決権行使書または委任状 返送先】
一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 事務局
〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田2-7-20

2023 年度定時社員総会 資料集

第1号議案 2022 年度事業報告(案)	【資料1】	P 1～
第2号議案 2022 年度決算報告(案)／ 監査報告	【資料2】【資料3】	P14～
第3号議案 2023 年度事業計画(案)	【資料4】	P19～
第4号議案 2023 年度収支予算計画(案)	【資料5】	P32
第5号議案 新役員の承認について	【資料6】	P33

【お問い合わせ先・議決権行使書または委任状 返送先】
一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 事務局
〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田 2-7-20

【資料1】

第1号議案 2022年度事業報告(案)

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022年度の経過

2022年度の事業は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の変化に合わせながら、実施して参りました。

第36回リハ工学カンファレンスは、2年目となるWeb会議システムでの開催となりました。中心となって活動していただきました中国・四国支部の皆様、ありがとうございました。

当協会だけの話ではありませんが、変化に対応するための道具であるWeb会議システムをより一層活用できるようになりました。

福祉機器コンテストは、特別協賛(フランスベッド株式会社様)、協賛企業(3社様)にご支援いただき、募集・選考・表彰とすすめました。受賞作品は、新たに、厚生労働省、(公財)テクノエイド協会の協力を得て、障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会2022」大阪会場でのブース出展が実現しました。

協会誌はVol.37 No.3からVol.38 No.2まで4回発行しました。特集内容は多岐にわたり、論文投稿も増えました。電子化によるアクセスの向上も進みました。なお9年という長期間、パシフィックサプライ株式会社の岡田裕生さんに編集委員長を担っていいただきました。多彩な特集を継続すること、多くのルール化の道筋を示していただいたこと、ありがとうございました。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG(Special Interest Group)関連は協力SIGの内部化を進めており、基本的に内部化についての理解は得られたと考えています。
2022年度をもって、協力SIGであった移乗機器SIGは、2023年度初めより協会内の移乗機器SIGとして進み始めることとなりました。大変な作業があったと思います。関係者には感謝いたします。

地域支部においてはWeb会議システムを利用して企画された支部のイベントに対して、離れた地域からも参画できる仕組みが実証されました。

災害対策は、常設となった災害対策委員会が継続して積極的に活動してきました。一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)と連動する意味は、まだまだ大きいと考えています。また、セミナーとしての活動はできませんでしたが、八王子いちょう祭りでのブース展示、体験会を実施しました。

企画推進事業は、リハエ ミライ・アッセンブリーを定期開催することが出来ました。関西支部・中部支部の皆様、ご協力ありがとうございました。また、テクノツール株式会社様と「第10回合同シンポジウム」を開催しました。当日は、開催前に地震があり、予定時刻を超えた実施となってしまいました。参加者の皆様にはご迷惑をお掛けしました。反面、現地開催の際は、地震への対応も考えておかなければならないとの気づきがありました。

対面開催イベントが再開されたことに伴う、出展者セミナーとして、バリアフリー2023では、三貴ホールディングス株式会社様協力のもと、「立位トレーニングジム×車いすメーカー～立位を語る～」をテーマに開催しました。事前登録制でしたが、当日参加の方も多く、幅広い方に、支援機器で出来ること、立位姿勢の意味を問う機会になったと思います。

国際連携は、GAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)加盟団体として、総会・理事会に参加し、GAATOが進める支援機器の効果に関する国際的な検討、世界保健機構(WHO)との協力・連携事業にも積極的に参加してきました。

代議員・役員選挙に関しては、理事会の不手際で、協会員の皆様、特に選挙管理委員会の皆様には、ご迷惑をおかけしました。あらためて、申し訳ありませんでした。問題点を確認し、規則・細則を遵守します。

コロナ禍では、Web会議システムを用い、コロナ前と同じ回数の理事会もしくはそれ以上の回数を開催することができました。さらに、対面開催が可能となったことで、より多くの課題に対し直接的な情報交換・意見交換や共同作業を行うことができました。対面の必要性を改めて感じた次第です。今後も、事業の推進をさらに進めるために理事

一丸となって積極的に活動していきます。

これまでの会員の皆様の協力に感謝し、事業概要の報告とさせていただきます。

会長 河合 俊宏

1. 社員・会員

1−1. 法人社員・会員

2022 年 7 月 1 日　正会員 557 名(うち社員(代議員)68 名)、学生会員 3 名
　　賛助会員数 13 社(41 口)

2023 年 6 月 30 日　正会員 556 名(うち社員(代議員)66 名)、学生会員 5 名
　　賛助会員数 14 社(45 口)

2. 事業

本協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の 2022 年度の活動を報告する。

2−1. リハ工学カンファレンス関連(担当理事:鈴木太・山田賀久)

1)第 36 回リハ工学カンファレンス

第 36 回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部を開催した。

・会期:2022 年 8 月 20 日(土)～21 日(日)
・会場:Web 会議システム
・大会テーマ:リハ工学が変える！住み続けられるまちづくり
・大会長:鈴木太氏 (愛媛頸髄損傷者連絡会)
・実行委員長:谷口公友氏(広島国際大学)
・参加者数:協会員・非会員 96 名、学生 7 名

2)第 37 回リハ工学カンファレンス準備

第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京を開催すべく準備を行った。

・会期:2023 年 8 月 24 日(木)～26 日(土)
・会場:東京大学先端科学技術研究センター
・大会テーマ:リハ工学の先端で、インクルーシブ社会をさけぶ
・大会長:熊谷晋一郎氏(東京大学先端科学技術研究センター)
・実行委員長:並木重宏氏(東京大学先端科学技術研究センター)

2−2. 福祉機器コンテスト関連(担当理事:村田知之)

1)福祉機器コンテスト 2022

①一次選考会の開催

・機器開発部門 応募 26 作品(会員 5 件、非会員 21 件)　＊前回は 20 作品
・学生部門 応募 16 作品(会員 0 件、非会員 16 件)　＊前回は 17 作品

書類・ビデオ審査の後、2022 年7月9日(土)を締切とした選考委員による投票により 11 件を一次選考会通過とした

※機器開発部門は、2021年度(2022年6月25日(土))に実施

②二次選考会の開催

・機器開発部門・学生部門を Web 会議システムと選考委員参集によるハイブリッド形式で開催

機器開発部門は、応募者によるプレゼンテーションおよび実機による審査を行った

学生部門は、実機による審査を行った

開催日:2022 年 8 月 6 日(土)

③発表および表彰

・第 36 回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部のプログラム内(表彰式)

開催日:2022 年 8 月 21 日(日)

場所:Web 会議システム

④展示、広報

・協会ホームページへの掲載

・会員メーリングリスト(ML)での配信

・協会誌への掲載

・SNS 協会公式アカウントへの掲載

・ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪会場)(展示・広報)

期間:2022 年 11 月 28 日(月)～30 日(水)

場所:大阪マーチャンダイズ・マート(OMM)(大阪府)

・ニーズ・シーズマッチング交流会(東京会場)(広報のみ)

期間:2022 年 12 月 14 日(水)～16 日(金)

場所:東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都)

・キッズフェスタ 2023(広報のみ)

期間:2023 年 4 月 15 日(土)～16 日(日)

場所:東京流通センター第一展示場(東京都)

・バリアフリー2023(展示・広報)

期間:2023 年 6 月 19 日(水)～21 日(金)

場所:インテックス大阪(大阪府)

2)福祉機器コンテスト 2023

①福祉機器コンテスト 2023 事務局の設置　2023 年 3 月 1 日(火)

②選考委員会の設置　2023 年 5 月 1 日(月)

③後援団体への後援名義使用申請、企業への協賛依頼

④広報開始　2023 年 4 月中旬から

⑤募集開始

・機器開発部門(締切 2023 年 6 月 19 日(月))

・学生部門(締切 2023 年 7 月 10 日(月))

⑥機器開発部門申込締切(6 月 19 日(月))　申込数　21 件(会員8件、非会員 13 件)

機器開発部門一次選考会の準備

学生部門(締切 2023 年 7 月 10 日(月))　申込数　21 件(会員 0 件、非会員 21 件)

⑦後援団体、協賛企業との各種調整

⑧福祉機器コンテスト 2023 事務局との各種調整

⑨展示、広報

・協会ホームページへの掲載

・会員 ML での配信

・協会誌への掲載

・SNS 協会公式アカウントへの掲載

・キッズフェスタ 2023(広報のみ)

期間:2023 年 4 月 15 日(土)～16 日(日)

場所:東京流通センター第一展示場(東京都)

・バリアフリー2023(展示・広報)

期間: 2023 年 6 月 19 日(水)～21 日(金)

場所:インテックス大阪(大阪府)

3)コンテスト発展のための取組

①Web 会議システムの活用

②運営方法の見直し

③協会ホームページへの掲載、会員 ML での配信、協会誌への掲載、SNS 協会公式アカウントへの掲載など広報への活用

2－3. 協会誌関連(担当理事:石濱裕規・植田瑞昌)

1)編集委員会

年 4 回開催し、うち 3 回は東京大学先端科学技術研究センターとのハイブリッド開催とした。その他、臨時編集委員会を随時開催した。

2)協会誌発行

以下について、企画・準備・発行を実施した。

・Vol.37 No.3 2022/8 特集「教育と VR テクノロジーの発展について」

・Vol.37 No.4 2022/11 特集「生活を支えるスマホ・タブレット型端末によるアプリ・IoT」

・Vol.38 No.1 2023/2 特集「高齢者の移動を支援する用具について」

・Vol.38 No.2 2023/5 特集「食べることを支援する」

・Vol.38 No.3 2023/8 特集「可能性を広げる電動車椅子～多職種で支える車椅子利用者の暮らし～(仮)」

・Vol.38 No.4 2023/11 特集「入浴ケアの可能性(仮)」

今後の刊行予定につき意見交換を進めた。

・Vol.39 No.1 2024/2 特集「スポーツとリハビリ(仮)」

・Vol.39 No.2 2024/5 特集「ウェアラブルデバイス・センシング(仮)」

・Vol.39 No.3 2024/8 特集「災害 or ISO のリフト規格(仮)」

・Vol.39 No.4 2024/11 特集「ものづくり、UD(仮)」

3)投稿論文(査読依頼)

2022 年度投稿 10 件の査読者選定・(再)査読依頼・結果通知を進めた。

・Vol.37 No.3 掲載済 1 件

・Vol.37 No.4 掲載済 1 件(共に 2021 年度投稿)

・Vol.38 No.1 掲載済 1 件

・Vol.38 No.2 掲載済 4 件

・Vol.38 No3 掲載予定 1 件

再査読後修正投稿中 1 件、掲載不可 3 件

4)協会誌の段階的電子化

・特集記事等の電子公開形態・年度につき再度編集委員アンケートを実施

・理事会決議に基づき、発刊後 1 年を経過した特集記事をフリー公開(協会誌にも記載)

5)その他

・新協会誌編集委員会幹事に委嘱状を発出し、業務を遂行

・新たな編集委員会実施内規を理事会承認・運用を開始

2−4. 分科会(SIG)(担当理事:桂律也)

1)SIG 活動支援

2022 年度は、SIG 講習会などの活動も再開され、協会誌やホームページへの掲載などの広報活動の支援を実施した。また、リハ工 ミライ・アッセンブリー及びリハ工学カンファレンスなどの協会主催事業に対する各 SIG の協力要請も実施した。

2)協力 SIG の内部化促進

・2021 年度末に解散した移乗機器 SIG について、内部 SIG 設立手続きの支援

・姿勢保持、車いす、コミュニケーション、住まいづくりの協力 SIG について、内部化の検討を継続

・協力 SIG の内部化に伴う、保有資産の協会への移行についての原則を財務担当理事と確認し、整理

3)SIG の位置づけ検討委員会

・協力 SIG の内部化の方向性が確定し、委員会設置期間を延長せず、2022 年度で活動終了

2022 年度 SIG 活動報告 期間:2022 年 7 月～2023 年 6 月

※SIG 会員数(協会員数)は 2022 年 6 月 1 日現在

SIG 姿勢保持	http:// www.resja.or.jp/posi-sig/	会員数:125 名(30 名)
代表者:繁成剛(長野大学)	事務局長:児玉真一(フリーランス)	
・Web サイト運営、会員専用 ML への情報発信、リハ工学協会事業への協力 ・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第 2 版)や資料集 PDF 版の販売 ・役員会の開催:日程:2023 年 1 月 29 日(日) Web 会議 ・臨時役員会の開催:日程:2023 年 3 月 16 日(木) Web 会議 議題:小児から高齢者までの姿勢保持改訂		
車いす SIG	https://www.resja.or.jp/wc-sig/	会員数:51 名(38 名)
代表者:沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター)	事務局長:深野栄子	
・役員会の開催(4 回) ・第 36 回リハ工学カンファレンスでの企画「車椅子選びと機能の選定・姿勢の作り方」開催 (2022 年 8 月 21 日(日)) ・「車いす SIG 講習会 50 回開催記念大会」開催(2022 年 9 月 17 日(土)) ・「車いす SIG 講習会 50 回開催記念誌」発刊準備 ・車いす SIG 講習会「小児編」開催準備		
自助具 SIG	ホームページなし	会員数:9 名(9 名) Facebook グループ登録者(44 人)
代表者(事務局兼務):岡田英志(ヒューマン)		
・3D プリント研究会を設立し、Web 会議を実施した ・第 36 回リハ工学カンファレンスでの「3D プリンター自助具の検討会企画」		
乗り物 SIG	https://ameblo.jp/sunrisejp007/	会員数:5 名(5 名)
代表者:麩澤孝(有限会社セカンドステージ)	事務局長:片石任(株式会社フロンティア)	
・SIG ブログの更新、充実、情報提供 ・分科会(BOG)活動、協会事業への協力		
SIG 褥そう防止装置	http://www.resja.or.jp/sig-pmps/	会員数:20 名(10 名)
代表者(事務局兼務):新妻淳子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)		
・ホームページの更新、褥瘡学会との連携(委員派遣・セミナーの後援) ・COVID-19 対応指針作成・遠隔支援・役員会合・Web セミナーの開催・会員募集		

・第17回日本シーティング・シンポジウムの後援、SIG会員からの講演者派遣 （本講演後、褥瘡発生と剪断力についての、問い合わせを多数うけた。リハ工学者や臨床者の垣根の無い場こそ、議論に大切であると、改めて、考える機会となった）
コミュニケーションSIG　http://www.resja.or.jp/com-sig/　会員数:（20名） 代表者:渡辺崇史（日本福祉大学）　事務局長:上野忠浩（横浜市総合リハビリテーションセンター） ・ホームページ修正作業
SIG 住まいづくり　http://www.resja.or.jp/sumai-sig/　会員数:60名（38名） 代表者:橋本美芽（東京都立大学）　事務局長:鈴木基恵（横浜市総合リハビリテーションセンター） ・講習会開催 ・協会事業への協力 ・Webサイトリニューアル検討
特別支援教育SIG　ホームページなし　会員数:5名（5名） 代表者:松田靖史（川村義肢株式会社）　事務局長:高原光恵（鳴門教育大学） ・協会事業への協力 ・特別支援関連情報の収集、情報提供
移乗機器SIG（旧）　2021年度で解散し、協会内SIG設立に向け、準備を行った。
義肢装具SIG　http://www.resja.or.jp/po-sig/　会員数:82名（25名） 代表者:笹川友彦（熊本総合医療リハビリテーション学院）　事務局長　砂野義信（フリーランス） ・計画していたWebセミナー・新形式の講習会等は実施できなかった ・義肢装具SIGホームページ運営

2－5. 分科会（支部）・専門委員会（担当理事:植田瑞昌）

1）支部活動への支援

・協会誌への情報発信及び、会員へのML登録への案内

・中国・四国支部の活動支援及び体制構築について引き続き検討

・カンファレンスにて支部活動活性化に関するイベントの検討

・各支部活動の活動支援

・2022年度活動報告及び決算報告のとりまとめ（詳細は別紙「支部の2022年度事業報告」に記載）

・中部支部との第3回リハ工　ミライ・アッセンブリーに関する企画・連絡調整等

・関東甲信越支部との第4回リハ工　ミライ・アッセンブリーに関する検討

2）2023年度活動計画

・活動計画の検討と予算計画のとりまとめ

2－6. 企画推進事業（企画担当理事:伊佐拓哲）

1）リハ工　ミライ・アッセンブリーの開催

①第2回リハ工　ミライ・アッセンブリー開催

・テーマ:3Dプリンターで自助具作成

・日時:2022年8月26日（金）　18:00～19:00

・場所:Web会議システム

・協力支部:関西支部

・参加人数:30名

②第3回リハ工 ミライ・アッセンブリー開催

・テーマ:オンライン展示場見学会と相談業務のオンライン化について

・日時:2023年1月29日(日) 13:30～14:30

・場所:Web会議システム

・協力支部:中部支部

・参加人数:27名

2)合同シンポジウムの開催

第10回合同シンポジウム開催

・テーマ:「テクノロジーで「やりたい」を「できる」に」

・日時:2023年5月26日(金) 19:00～20:45

・場所:豊洲文化センター第2研修室(東京都)(Web会議システムハイブリッド開催)

・主催:日本リハビリテーション工学協会／テクノツール株式会社

・参加人数:会場 7名(うち3名介助者) 、web 28名 (うち協会員15名、学生1名)

2－7. 事業統括事業(事業統括担当理事:中村俊哉)

1)学会展示会、広報活動強化

バリアフリー2023へ出展を行った。

・会期:2023年4月19日(水)～21日(金)

・場所:インテックス大阪(大阪府)

・協力支部:関西支部

2)セミナー開催

バリアフリー2023でプレゼンテーションセミナーを実施した。

・テーマ:「立位トレーニングジム×車いすメーカー～立位を語る～」

・日時:2023年4月20日(木)12:30～13:30

・場所:インテックス大阪(大阪府)

・主催:日本リハビリテーション工学協会

・講演者:芝崎 泰造氏(所属:三貴ホールディングス(株))

・参加者:44名

3)情報保障の拡充

第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部における市民公開講座「車いすラグビーを通して得たもの～メダル獲得までの協働的な取り組み～」(2022年8月20日(土))での情報保障(リアルタイム字幕配信)を実施した。

2－8. 国際関連の事業(担当理事:森田千晶)

1)国際関連団体との相互協定に基づく交流

①GAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)

・理事派遣:国際関連推進委員会の井上剛伸氏(国立障害者リハビリテーションセンター)、桂律也理事がオンラインにて参加し、運営に関わった

・年会費:500スイスフラン

②アジアリハ工学連携会議(CREATe Asia:Coalition on Rehabilitation Engineering and Assistive Technology, Asia)

・COVID-19の影響により開催されなかったため代表者派遣なし

③その他

・第17回 韓国福祉工学学術大会開催情報を協会ホームページと会員MLにて情報提供した

2)国際関連推進委員会の開催

・開催日:2023年6月9日(金)

・場所:Web会議システム

・内容:各委員のもつ国際関連情報(GAATO、i-CREATe)の共有

・i-CREATe参加についての覚書が発行されるにあたり、当協会として参加の意向を確認

2−9. 災害対策関連(担当理事:早川康之・桂律也)

1)災害対策リハ工学セミナーの開催

①八王子いちょう祭りでの福祉機器・災害対策用品展示

・開催日:2022年11月19日(土)

・場所:八王子いちょう祭り(東浅川保健福祉センター)(東京都)

・参加者:約150名

2)災害対策委員会の運営と大規模災害時の協会の対応

①災害対策委員会

・Web会議(3回)

②一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT:Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team)活動

協会代表としての参加

・理事会

・運営委員会

・研修委員会

・広報委員会

・地域JRAT組織化支援委員会

・地域JRAT代表者会議

・災害時福祉用具等提供 WG(Working Group)

・JRAT 初動対応チーム(JRAT-RRT :JRAT Rapid Response Team)隊員養成研修第1回オンライン演習

・JRAT発行書籍『災害リハビリテーション標準テキスト第2版』への分担執筆、出版への協力

③頸損連会誌の災害関連記事執筆依頼への対応

④災害時に活動する他団体との連携についての情報収集

⑤RESJA独自の災害対策マニュアル作成

・他団体のネット上のマニュアル情報の収集

・WGの立ち上げ

・初刊は2024度を予定

3. 総務

3−1. 選挙・規則(担当理事:江原喜人)

1)2023年度代議員選挙・役員候補者選挙

・選挙管理委員会の任期満了に伴い、新たな選挙管理委員会を発足

・代議員および役員の任期満了に向けたWeb選挙システムによる代議員選挙、役員候補者選挙の準備

2)規定の整備

・2022年度定時社員総会における承認を経て、ホームページに「自主行動基準」を掲載

・各種規則等の規定状況を確認し、運用上の問題点や改訂の必要性等について検討

3－2. 財務(担当理事:岡野善記)

1)法人会計の管理

・2022年度決算の実施

・2023年度予算案の提案

・四半期決算の実施

2)分科会・支部の連結決算の準備

・会計システムの再構築

・会計システムの統合準備

3)インボイス制度対応

3－3. 総会・理事会(担当理事:中村詩子)

1)2022年度社員総会

・ 2022年度定時社員総会

日時: 2022年9月3日(土)、11:00～12:04

場所: 加瀬の会議室新横浜第6会議室(神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88 8階)

Web会議システム(Zoomウェビナー)

2)2022年度理事会

2022年度第1回(通算第79回)から第5回(通算第83回)理事会を以下の日時で、Web会議システムを用いて開催した。

第1回:2022年7月24日(日)　9:00～10:47

第2回:2022年10月30日(日)　9:00～11:35

第3回:2022年12月11日(日)　9:00～11:28

第4回:2023年3月5日(日)　11:04～12:16　※この回は対面とWeb会議システムによるハイブリッド開催

第5回:2023年6月4日(日)　9:00～10:45

3)2023年度定時社員総会の準備

2023年度定時社員総会の開催について、各理事に「2022年度事業報告」及び「2023年度事業計画書・予算要求書」の提出を依頼し、「2022年度事業報告(案)」及び「2023年度事業計画(案)」の作成を行った。

3－4. 広報・渉外(担当理事:杉本昌子・鈴木太)

1)協会リーフレット印刷

・リーフレット更新準備(次年度に向けてレイアウト見直し、案作成)

2)Web会議システム利用

・理事会、定時社員総会を実施

・リハ工　ミライ・アッセンブリー実施

・総務系ミーティングを実施

・合同シンポジウムを実施

3)Web管理委員会の運営

・協会ホームページの維持・管理・更新

・Facebookでの情報発信
・協会ホームページサーバーの変更を次年度に向けて検討

4. 事務局(事務局統括理事:江原喜人)

1)事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた。

2)会員情報管理システム導入検討

2022年度内の会員情報管理システム導入に向けて調査および検討を進めてきたが、協会の全体予算に対して年間利用料が大き過ぎると判断し、今年度中の導入をいったん見送ることとした。

3)展示会出展における広報活動

2023年4月19日(水)～21日(金)に大阪市にて開催された「バリアフリー2023」に出展し、ブースにおける広報活動を行った。

5. 後援・協賛事業

2022 年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	公益社団法人日本理学療法士協会	2022/7/9～10 (オンライン開催)	第57回日本理学療法学術研修大会inとやま
2	協賛 ※昨年度は後援	一般社団法人日本生活支援工学会(幹事学会)、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人ライフサポート学会	2022/8/19～21	学術講演会LIFE2022
3	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2022/8/31～9/2	ヒューマンインタフェースシンポジウム2022
4	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2022/9/16～18 (現地開催) 2022/9/19～10/19 (Web開催(オンデマンド配信))	第56回日本作業療法学会
5	後援	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2022/10～2023/3	第10回ウェルフェアデザインコンテスト
6	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2022/10/15	ケアリフォームシステム研究会　全国大会in青函
7	後援	特定非営利活動法人日本シーティング・コンサルタント協会	2022/11/19～20	第17回日本シーティング・シンポジウム
8	協賛	感覚代行研究会	2022/12/5～9 (オンライン開催)	第48回(2022年)感覚代行シンポジウム
9	後援	日本身体障害者補助犬学会	2022/12/10	日本身体障害者補助犬学会第14回学術大会
10	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2022/12/14～16	第23回SICEシステムインテグレーション部門講演会

11	後援	ファブラボ品川、My Human Kit	2023/5/4～6	FABRIKARIUM TOKYO 2023
12	後援	一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会	2023/5/27～28	第22回日本訪問リハビリテーション協会学術大会IN愛知2023
13	後援	公益社団法人日本理学療法士協会	2023/5/27～28 （オンライン開催）	第58回日本理学療法学術研修大会
14	後援	全国頸髄損傷者連絡会	2023/6/3	第50回全国頸髄損傷者連絡会総会・兵庫大会
15	後援	第4回福祉用具専門相談員研究大会	2023/6/22 （オンライン併用開催）	第4回福祉用具専門相談員研究大会

※下線は新規

【別紙】

支部の 2022 年度事業報告

東日本支部

支部活動のための体制の構築が困難な状況が続き、特別な活動ができていなかった。引き続き会員への情報発信ができるように検討を行う。

関東・甲信越支部

2022 年度は支部活動を実施することができなかった。引き続き会員への情報発信ができるように検討を行う。

中部支部

1)事業概要

中部支部では支部セミナー実施と兼ねて、リハ工　ミライ・アッセンブリー開催に協力し、リハビリテーション工学に関わる研究や情報の普及・啓発を図った。

2)主要事業

支部セミナーの開催　兼　第3回リハ工　ミライ・アッセンブリーへの協力

開催日:2023 年 1 月 29 日(日)　13:30～14:30

場所:名古屋市総合リハビリテーション事業団なごや福祉用具プラザ、金沢福祉用具情報プラザからの同時中継配信

参加者:27 名

テーマ:「オンライン展示場見学会と相談業務のオンライン化について」

講師:　田中芳則氏、長束晶夫氏(なごや福祉用具プラザ)、城野友哉氏、本田優介氏(金沢福祉用具情報プラザ)
北野義明氏(石川県リハビリテーションセンター)、渡辺崇史氏(日本福祉大学)

※なごや福祉用具プラザ、金沢福祉用具情報プラザの協力(会場利用)福祉テクノロジーセンターとの共催

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

支部役員会の開催

日時:　2023 年 1 月 13 日(金)　16:30～17:30、2023 年 1 月 17 日(火)　18:30～19:30

場所:　Web 会議システム

内容:　支部活動での企画についての協議、2022 年度、2023 年度の事業の打ち合せ等

関西支部

1)事業概要

関西支部では、2022 年度はバリアフリー2023 出展への協力を行った。また、協会が主催するリハ工　ミライ・アッセンブリーへの企画提案を行い、実施した。

2)主要事業

①関西支部セミナーの開催

開催日:2022 年 11 月 6 日(日)13:00～15:00

場所:神戸学院大学神戸三宮サテライトセミナー室(A＋B)

講師:山中泰紀氏、島本義信氏、橘祐樹氏

コーディネーター:宮野秀樹氏

テーマ:「電動車椅子製作における地域格差について」

②バリアフリー2023　ブース運営協力

開催日:2023 年 4 月 19 日(水)～21 日(金)　10:00～17:00

場所:インテックス大阪

内容:支部スタッフの派遣

③第 2 回リハ工　ミライ・アッセンブリー担当・協力

開催日:2022 年 8 月 26 日(金)　18:00～19:00

場所:Web 会議システム

講師:相良二朗氏(神戸芸術工科大学／関西支部長)

内容:3D プリンターで自助具作成

→3D プリンター作成の様子を事前に撮影・そのために参加者を応募したセミナーを開催

開催日:2022 年 7 月 9 日(土)　10:00～16:00

場所:神戸芸術工科大学

講師:相良二朗氏(神戸芸術工科大学／関西支部長)

内容:3D プリンターで自助具作成～専用ソフト・3D プリンターの使い方を学ぶ～

④ニーズ・シーズマッチング交流会 2022 大阪会場出展協力

開催日:2022 年 11 月 28 日(月)～30 日(水)　10:00～17:00

場所:OMM(2 階展示 A ホール)

内容:福祉機器コンテスト入賞作品の展示スタッフの派遣

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

・支部役員会の開催

開催日:2023 年 4 月 25 日(火)　18:00～19:00

場所:Web 会議システム

内容:新役員の承認、副支部長の交代、次年度の活動内容について

中国・四国支部

支部代表退任に伴い、支部活動のための体制の構築が困難な状況が続き、特別な活動ができなかった。

九州支部

1)事業概要

九州支部では、西日本国際福祉機器展にてオフラインミーティングを開催する予定であったが、同展示会が開催中止となったため、オフラインミーティングの開催は見送られた。代替イベントとして、「TOTO ミュージアムの見学と UD 研究担当の田村氏を交えての意見交換会」を 6 月 11 日(日)に開催した。

2)主要事業

・見学・意見交換会の開催

開催日:2023 年 6 月 11 日　13:00～15:00

場　所:TOTO ミュージアム　北九州市小倉北区中島 2-1-1(福岡県)

参加者:若干名

テーマ:「TOTO ミュージアムの見学と UD 研究担当の田村氏を交えての意見交換会」

意見交換会話題提供:　植田瑞昌(日本女子大学　家政学部住居学科)

田村房義(TOTO　UD・プレゼンテーション推進部)

3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

なし

4)その他

支部役員会の開催：メーリングリストにて適宜開催した

【資料2】

第2号議案 2022年度決算報告(案)／監査報告

「決算報告書」(貸借対照表、損益計算書、事業費・管理費内訳書)及び補助資料として「予算比較決算書」をご覧ください。

決　算　報　告　書

自　令和　4年　7月　1日

至　令和　5年　6月30日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会

神奈川県横浜市磯子区杉田２丁目７番２０号

貸借対照表

（単位：円）

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　令和 5年 6月30日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	7,634,453	【流動負債】	2,604,110
現金及び預金	6,251,992	前受会費等	1,733,000
前払金	473,780	前受金その他	286,250
未収入金	400,000	未払金	141,700
前払費用	8,681	仮受金	43,160
その他流動資産	500,000	預り金	400,000
【固定資産】	11,780	負債の部計	2,604,110
(有形固定資産)	10	正味財産の部	
器具備品	10	【正味財産】	5,042,123
(投資その他の資産)	11,770	正味財産	4,808,498
長期前払費用	11,770	当期正味財産増加額	233,625
		正味財産の部計	5,042,123
資産の部計	7,646,233	負債・正味財産の部	7,646,233

損　益　計　算　書

（単位：円）

自 令和 4年 7月 1日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　至 令和 5年 6月30日

科　　目	金　額	
【入会金収入】		12,000
【会費収入】		
一般会費収入	5,225,000	
学生会費収入	14,000	
賛助会費収入	480,000	5,719,000
【事業収入】		
書籍頒布	37,000	
購読サービス会費	265,000	
協会誌収入	111,000	
その他事業収入	15,215	428,215
【雑収入】		306,903
収益合計		6,466,118
【事業費】		3,901,359
【管理費】		2,331,134
費用合計		6,232,493
当期正味財産増加額		233,625

事業費・管理費内訳書

（単位：円）

自 令和 4年 7月 1日

一般社団法人日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ工学協会　　至 令和 5年 6月30日

科　　目	金	額
【事　業　費】		
協会誌編集・発行費	3,114,405	
事業開催費	458,934	
活動費	61,388	
会場費	266,632	3,901,359
【管　理　費】		
講師謝金	16,000	
公認会計士顧問料	264,000	
会議費	139,666	
会費・参加費	115,670	
交通費	475,907	
通信運搬費	124,096	
事務用品費	118,237	
印刷費	60,683	
事務局備品リース料	26,136	
管理委託費	111,571	
事務委託費	720,000	
支払手数料	28,235	
収納代行手数料	129,783	
その他手数料	1,150	2,331,134
事業費及び管理費		6,232,493

【資料3】

2022年度監査報告

2023年(令和5年)7月24日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 河合 俊宏 様

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
2022年度(令和4年度)監査報告書

私たち監事は、当協会定款第60条の規定に基づき2022事業年度(2022年7月1日より2023年6月30日まで)の監査を実施したので、その方法および結果について以下の通り報告します。

1. 監査の方法および内容

各監事は、理事および事務局長と意思疎通を図り、理事会に出席して事業報告を受けたほか、会計帳簿ならびに決算書類につき閲覧調査しました。

2. 監査結果

1) 業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行されたことを確認しました。

2) 決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認めます。

3. 付帯意見

1) 主要事業であるリハ工学カンファレンスが2年連続でオンラインにより開催され、また、各支部の協力を得てミライ・アッセンブリーや合同シンポジウム、プレカンファレンス等のオンラインイベントの開催が多く企画されました。コロナ禍が落ち着かない中、オンライン開催のノウハウが蓄積され、関係各位の努力が継続されています。

2) オンライン化による管理費削減の効果はありますが、一方で、理事会においてはコミュニケーション不足ではないかと思われる弊害が見られました。理事会におかれては、理事交代による新体制での事業の開始時期や事業計画をまとめる時期には対面方式の会議開催を積極的にご検討ください。

3) 積極的な支部活動が見られる反面、一部の支部では停滞も見られます。支部の活性化には、協会が主導して活動に参画する会員を増やすことも必要です。

4) 新しい会計システムが軌道に乗り、過去に遡って正しい会計処理ができたことを評価します。引き続き事務局体制を強化して、協会の存続や事業の継続を強固にすることを希望します。

監事 伊藤 和幸 印

監事 赤澤 康史 印

【資料4】

第3号議案 2023 年度事業計画(案)

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023 年度事業方針

2023 年度事業計画について、ご説明します。

コロナ禍の制限は無くなりましたが、Web 会議システムの利便性と対面での顔の見えるコミュニケーションの良さの両面を活かしていくことが求められていると考えます。そのため、2023 年度の第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京では、対面と Web 会議システムを併用し、開催を目前にしています。

既に審査が進んでいる、福祉機器コンテスト 2023 の受賞作品は、多くの皆さんに知っていただけるよう、Web だけでなく、第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京、第 50 回国際福祉機器展、ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪・東京)で、実物展示ができるように進めています。

協会誌の編集委員長には帝京平成大学の徳田良英さんに担っていただき、特集のみならず、査読システム構築など、さらに進めていただくために、手腕を発揮していただければと思っています。よろしくお願いします。

分科会・専門委員会では、いくつかの SIG(Special Interest Group)で対面開催の講習会企画があると聞いています。特色を発揮していただければと思います。

SIG 内部化に伴う財務に関しても、一定の条件が明確になりました。2023 年度は全協力 SIG の法人内移行を目指します。

地域支部において、単独での活動が厳しい地域もありますので、2023 年度は見直しが必要と考えています。協会本部主導のイベント、リハ工 ミライ・アッセンブリー等、さらなる連携を進めます。

災害対策委員会では、委員会主導で、業界団体とも調整をし、協会として何ができるのか検討します。2023 年度は八王子いちょう祭りに加え、協会主催で災害対策リハ工学セミナーを開催したいと考えています。

企画推進事業として、リハ工 ミライ・アッセンブリーでは、会員向けに限らない情報発信の場として、2023 年度も継続します。地域支部はもとより今後はテーマによって、複数の SIG との連携も検討しますので、皆様ご協力をお願いします。

国際連携では、アジアでの支援機器関連団体(CREATe-Asia) の i-CREATe 2023 が 2023 年 8 月にタイで開催されます。その場において各国の加盟団体の連携調印がされる予定となっており、当協会も覚書に調印をする予定です。

総務関連では、事務局の運営をさらに強化するため課題を明確にし、外部委託の範囲を広げる、システムを導入するなど引き続き対応をしていきます。さらに、個人情報保護や特定商取引等に関してもより適切な対応を進めます。

会員の皆様におかれましても、協会活動へ積極的に参加・支援をいただき、一丸となって、障害者支援・業界の発展に寄与して参りましょう。本年度もご協力のほど、よろしくお願いいたします。

会長 河合 俊宏

1. 事業

1−1. リハ工学カンファレンス関連(カンファレンス担当理事)

1)第 37 回リハ工学カンファレンス準備

第 37 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

・会期:2023 年 8 月 24 日(木)〜26 日(土)

・会場:東京大学先端科学技術研究センター(東京都目黒区駒場 4-6-1)

・大会テーマ:リハ工学の先端で、インクルーシブ社会をさけぶ

・大会長:熊谷晋一郎氏(東京大学　先端科学技術研究センター　准教授)
・実行委員長:並木重宏氏(東京大学　先端科学技術研究センター　准教授)

2)第 38 回リハ工学カンファレンス準備

第 38 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

3)第 39 回リハ工学カンファレンス準備

第 39 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

4)UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)継続利用

演題募集・登録のため UMIN システムを利用する。

1−2. 福祉機器コンテスト関連(コンテスト担当理事)

1)福祉機器コンテスト 2023

①第一次選考会

・機器開発部門は、応募作品の書類やビデオによる審査を実施

開催日:2023 年 7 月 8 日(土)

場所:Web 会議システムによる実施

応募数　21 件(会員8件、非会員 13 件)　＊前回は 26 件

・学生部門は、応募作品の書類やビデオによる審査の後、2023 年7月 15 日(土)を締切とした選考委員による投票を実施

開催日:2023 年 7 月 8 日(土)

場所:Web 会議システムによる実施

応募数　21 件(会員 0 件、非会員 21 件)　＊前回は 16 件

②第二次選考会　2023 年 8 月 25 日(金)

・機器開発部門は、応募者によるプレゼンテーションおよび実機による審査を実施

開催日:2023 年 8 月 25 日(金)

場所:東京大学先端科学技術研究センター(東京都)　※ハイブリッド形式を予定

・学生部門は、実機による審査を実施

開催日:2023 年 8 月 25 日(金)

場所:東京大学先端科学技術研究センター(東京都)　※ハイブリッド形式を予定

③発表・表彰

・第 37 回リハ工学カンファレンス内のプログラム

開催日:2023 年 8 月 26(土)

場所:東京大学先端科学技術研究センター(東京都)　※ハイブリッド形式を予定

④展示・広報:

・第 37 回リハ工学カンファレンス in 東京　2023 年 8 月 24 日(木)～26 日(土)

(一次選考会通過作品の展示)

・第 50 回国際福祉機器展(H.C.R. 2023)　2023 年 9 月 27 日(水)～29 日(金)

・ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪会場・東京会場)　2023 年 11 月～12 月

・キッズフェスタ 2024(東京都)　2024 年 4 月頃予定

・バリアフリー展 2024(大阪府)　2024 年 4 月 17 日(水)～19 日(金)

2)福祉機器コンテスト 2024

①特別協賛:(予定)　フランスベッド株式会社

②協賛:(予定)　　株式会社有薗製作所、株式会社ケープ

③後援:(予定)　厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会
公益社団法人日本理学療法士協会、公益社団法人日本生体医工学会
公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本義肢装具学会
一般社団法人日本作業療法士協会、一般社団法人日本生活支援工学会
一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、
一般社団法人日本車椅子シーティング協会、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会
一般社団法人日本人間工学会、バイオメカニズム学会
特定非営利活動法人バイオフィリアリハビリテーション学会

④福祉機器コンテスト2024 事務局(2024 年3月1日～)

⑤選考委員会の設置(2024 年4月1日～)

⑥募集対象:機器開発部門、学生部門

⑦広報開始・応募要綱配布:2024 年4月中旬

⑧募集期間:機器開発部門 2024 年5月～6月、学生部門 2024 年5月～7月

⑨展示・広報 (予定)

・キッズフェスタ展示会(広報) 2024 年4月

・バリアフリー2024 展示会(広報) 2024 年4月

3)コンテスト発展のための取り組み

コンテストの企画内容及び運営方法を見直す。

1−3. 協会誌関連(協会誌担当理事)

1)協会誌編集

・年4回、協会誌の発行に合わせて必要に応じ会場の確保を行い、編集委員会を開催

・コロナ禍での電磁的開催は定着したが、会場利用での対面開催のメリットも大きいため、年2回の対面開催を計画

2)協会誌発行

以下の協会誌を発行予定

2023 年度

・Vol.38 No.3 2023/8 特集「可能性を広げる電動車椅子(仮)」

・Vol.38 No.4 2023/11 特集「入浴ケアの可能性(仮)」

・Vol.39 No.1 2024/2 「未定(仮)」

・Vol.39 No.2 2024/5 「未定(仮)」

3)投稿論文(査読依頼)

・早期に査読委員会を設立し、新たに査読委員会内規のもと、投稿論文の査読者の確保と依頼、迅速な査読、査読依頼と結果通知の電子化を実施予定

4)協会誌の段階的電子化

・協会誌電子化作業のうち、J-STAGE 登載を、株式会社ジェイピーシーに継続委託

5)編集委員会幹事委託費

・編集委員会幹事を神奈川県総合リハビリテーションセンターの松田健太氏に委託

1−4. 分科会・SIG(分科会(SIG)担当理事)

1)SIG 活動支援

・コロナ禍で停滞していた各 SIG の活動について、各 SIG 主体の活動及び、複数 SIG 協同の活動について、

当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーであるという認識に基づいて、活動支援を継続

・これまで同様、2023 年度も当法人が企画・参画・運営する事業(講習会やコンテスト、協会誌の査読、リハ工学カンファレンス等)実施に際して各 SIG と協働しながら当法人および各 SIG の活動を活性化

・2023年度内に法人内 SIG を設立し、任意団体 SIG の解散整理を進める

2023 年度活動計画 期間:2023 年 7 月～2024 年 6 月 ※SIG 会員数(協会員のみ)は 2023 年 6 月 1 日現在

SIG 姿勢保持	http://www.resja.or.jp/posi-sig/	会員数:26 名
代表者:繁成剛(長野大学) 事務局長:中村詩子(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・Web サイト運営、会員専用 ML への情報発信、リハ工学協会事業への協力 ・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集 PDF 版の販売 ・講習会:SIG姿勢保持講習会 2023 (2023 年7月22日(土)・23日(日):アンピールホテル大阪)		
車いす SIG	https://www.wheelchair-sig.jp/	会員数:38名
代表者:沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター) 事務局長:深野栄子 ・役員会開催 ・車いす SIG 講習会 ・Web サイト運営、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援 ・日本車椅子シーティング協会 車椅子姿勢保持基礎講習会(障害分野)の共催 ・その他、本協会事業への協力		
自助具 SIG	ホームページなし	会員数:9 名 Facebook グループ登録者:44名
代表者(事務局兼務):岡田英志(ヒューマン) ・第37回リハ工カンファレンスにおいてセッション参加予定 ・3D プリント研究会インタラクティブセッション予定		
乗り物 SIG	https://ameblo.jp/sunrisejp007/	会員数:5 名
代表者:麩澤孝(有限会社セカンドステージ) 事務局長:片石任(株式会社フロンティア) ・SIG ブログの更新、充実、情報提供 ・分科会(BOG)活動、協会事業への協力		
SIG 褥そう防止装置	http://www.resja.or.jp/sig-pmps/	会員数:10 名
代表者(事務局兼務):新妻淳子(国立障害者リハビリテーションセンター研究所) ・協賛学会である LIFE2023 におけるオーガナイズドセッション「OS-9:人体ダミーやシミュレーションを用いたヒト代替研究」を企画し、褥瘡発生と悪化に係る"破壊の力、剪断力"について、議論の場とする(このセッションについて会員への告知を通して、SIG 活動への興味をひろげたい) ・リハ工学カンファレンスにおける SIG 紹介の場で、会員への理解を深めるよう働きかける。		
コミュニケーション SIG	http://www.resja.or.jp/com-sig/	会員数:20 名
代表者:渡辺崇史(日本福祉大学) 事務局長:上野忠浩(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・ホームページ修正・改訂作業		
SIG 住まいづくり	http://www.resja.or.jp/sumai-sig/	会員数:15名
代表者:橋本美芽(東京都立大学) 事務局長:鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンター) ・SIG 活動方針の検討、講演会の開催、ホームページの見直し検討 ・講習会開催 ・協会事業への協力		

・Web サイトリニューアル検討
特別支援教育 SIG　ホームページなし　会員数:5 名 代表者:松田靖史(川村義肢株式会社)　事務局長:高原光恵(鳴門教育大学) ・協会事業への協力 ・特別支援関連事業への協力
移乗 SIG　2023年 7 月 1 日協会内 SIG を設立　新ホームページ開設予定　会員数:14名 代表者:古田恒輔(神戸学院大学)　事務局長:青木久美子 ・役員会の開催　年度内 3 回(対面もしくは Web 会議システム等を用いた遠隔会議を設定) ・日本リハビリテーション工学協会　カンファレンスへの参加 SIG 設置報告および会員獲得のための広報活動。SIG 参加申請アドレスや事務局の案内。 ・ホームページの作成 ・講習会の開催(2 回程度)協会事業への協力
義肢装具 SIG　http://www.resja.or.jp/po-sig/　会員数:25 名 代表者:笹川友彦(熊本総合医療リハビリテーション学院)　事務局長　砂野義信(フリーランス) ・オンラインセミナー　2回開催　SIG会員向け参加費無料　SIG役員による義肢装具トピックスを中心に ・新形式での講習会　コロナ下での新しい形式の講習会開催 ・義肢装具 SIG ホームページ運営

1−5. 分科会・支部(分科会(支部)・専門委員会担当理事)

1)支部への活動支援

会員はいずれかの地域の支部に所属し、各支部ではリハ工学に関わる人的ネットワークを構築している。協会誌やホームページで全支部からの情報を掲載し、会員への周知を図っている。支部ごとで活動状況に差があるので、2023年度は本部や他の委員会と協力し、さらなる支部活動への支援を積極的に行う。

・継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金を配分

・2023年度も引き続き支部活性化のための情報発信の簡便化や効率化等について検討

2)2023年度活動計画(期間:2023年7月～2024年6月)

詳細は「支部の2023年度事業計画」として別紙に示す。

1−6. 災害対策関連事業(災害対策担当理事)

1)災害対策委員会活動

・災害対策委員会が持っている案件を解決するための委員会活動を活性化

・事業の実施に際して、活動開始までの段取りを、災害対策委員全員による検討ができるよう、Web会議システムによる会議を実施

2023年度の主な活動は以下の通り

・災害対策委員会会議の実施

・災害対策セミナー実施に関する検討

・災害対策マニュアル作成に関する検討

・他団体との協働に関する検討

・その他、災害対策委員会が独自に必要と認めたこと

・リハ工学協会災害対策に関わる事項についての統括、および必要があればワーキンググループの人員選定

2)災害対策セミナー等の開催

・協会の広報活動および会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナ

一等を開催

・2022年度は、八王子いちょう祭りでの展示、体験会を実施した。本年度は八王子いちょう祭りに加え、リハ工学協会主催の災害対策セミナーの開催を検討

・運営は災害対策員会を中心に各SIGや支部の協力を仰ぎながら企画し、リハ工学協会による平時からの災害対策啓蒙、技術伝承及び、災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容を検討

2023年度の主な活動は以下の通り

・災害対策セミナー等の企画・実施

対象者：当事者やリハ工学に興味のある方等

対面開催を基本とするが、オンライン開催等も視野に、実施を検討

・八王子いちょう祭りでの展示、体験会

対象者：一般および当事者

対面開催で、出展に際しては、企業への協力を依頼

・リハ工学カンファレンスにおけるイベント企画

3)災害対策マニュアルの作成

・2022年度には具体的な動きができなかった障害を持つ方向けの災害対策マニュアル(防災マニュアル)について内容の精査を行い、2024年度の発刊を目標に準備

2023年度の主な活動は以下の通り

・障害を持つ人向けの災害対策マニュアル(防災マニュアル)(仮称)の作成準備

・内容の決定

・執筆者選定

・発刊スケジュールの検討

4)他団体との協働

・2023年度は、JRATを中心とし、他団体との協力体制を構築する。特に都道府県単位の地域JRATの活動に対して、リハ工学協会がどのように参加ができるか検討

・リハ工学協会の特長を生かせる災害対策を求めている団体を選定し、協力方法についての話し合い等を検討

・災害関連イベントに関して、他団体との協働活動が可能であれば検討

2023年度の主な活動は以下の通り

・JRAT活動への参加

・地域JRATへのリハ工学協会支部参加方法の検討および促進

・JASPA(日本福祉用具・生活支援用具協会)の災害復興車椅子メンテナンス事業等への参加

・JRAT、JASPA、JAWS(Japan Association of Wheelchair and Seating：日本車椅子シーティング協会)、日本福祉用具供給協会等の連携の窓口対応

・DWAT(Disaster Welfare Assistance Team：災害福祉支援チーム)等の他団体との関係性についての検討

1－7. 企画推進事業(企画担当理事)

1)リハ工 ミライ・アッセンブリー等の開催

・協会だけではなく外部団体と連携しジャンルを超えた意見ディスカッションを実施し、障害当事者の一助になるセミナー等を開催

・新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進を目的としたリハ工 ミライ・アッセンブリーの定期的開催

2)研修企画委員会設置の検討

・研修企画委員会のあり方を検討

1－8. 事業統括(事業統括理事)

協会の広報活動および会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行う。

1)学会展示会、広報活動強化

以下の展示会等へブース出展し、広報活動を実施する。その際には各地域の支部で運営するように体制整備を併せて行っていく。

・第50回国際福祉機器展(H.C.R. 2023)

リアル展:2023年9月27日(水)～29日(金) 10:00～17:00 (東京ビッグサイト(東京都))

Web展:2023年8月28日(月)～10月30日(月) (H.C.R. 2023 Webサイト 特設サイト内)

・ニーズ・シーズマッチング交流会2023

大阪:2023年11月27日(月)～29日(水) 東京:2023年12月12日(火)～14日(木)

・バリアフリー2024　2024年4月17日(水)～19日(金) インテックス大阪(大阪府)

・地域を含めた展示会等の出展検討

2)セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。

・第50回国際福祉機器展(H.C.R. 2023)

・バリアフリー2024

3)情報保障の拡充

障害者差別解消法の施行により、障害のある人に対する情報保障を実施する必要性がある。当協会においても、主催セミナー・シンポジウムや支部事業、カンファレンス等において情報保障の実施が求められており、そうした社会情勢に対応するための体制づくりを継続して行う。

1－9. 国際関連事業(国際担当理事)

1)国際関連団体との相互協定に基づく交流

・GAATOへの参加と連携

・i-CREATeへの参加と会員への情報提供

・CREATe ASIA覚書の調印式 タイ 2023年8月8日(水)～11日(金)

2)国際連携推進委員会の開催

・理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を設置し、Web会議システムにて年に2回程度の委員会開催を予定

3)リハ工学カンファレンスにおける国際セッションの企画

2. 総務

2－1. 規則・選挙(規則・選挙担当理事)

1)2023年度代議員・役員候補者選挙

・2023年度代議員・役員候補者選挙を実施

2)規程の整備

・各種規程を整備し、必要に応じて改定

2−2. 財務(財務担当理事)

1)法人会計の管理

2023年度決算の実施

2024年度予算案の提案

四半期決算の実施

2)分科会・支部の連結決算の準備

会計システムの再構築

会計システムの統合

2−3. 総会・理事会(総会・理事会担当理事)

1)2023年度定時社員総会の開催

・2023年8月に、カンファレンス会場にて定時社員総会を開催

日時:2023年8月25日(金)12:20～13:20

会場:東京大学先端科学技術研究センター(東京都目黒区駒場4-6-1)

2)2023年度理事会の開催

・年5回、定例の理事会を開催

・時期は2023年7月、10月、12月、2024年3月、6月

・Web会議を基本とするが、必要に応じて対面開催

2−4. 広報・渉外(広報・渉外担当理事)

1)協会リーフレット印刷

・協会案内用リーフレット印刷

2)Web会議システム利用

・Web会議システムを活用し、効率的で経費負担の少ない事業運営を目指す

3)外部ストレージ利用

・理事業務を円滑に行うため、外部ストレージ(X server Drive)を利用し、各種データを共有

4)メールサーバの検討

・より安全で使いやすいものを検討

5)Web管理委員会

・委員会の在り方とメンバーの再考

2−5. 事務局(事務局担当理事)

1)事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める。

2)会員管理システムの保全

・必要に応じた委員会の設置

3)展示会出展における広報活動

3. 後援・協賛事業

・後援・協賛予定事業(主催団体と内容)は下記の通りである

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	特定非営利活動法人 バイオフィリア リハビリテーション学会	2023/7/8	第27回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
2	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2023/9/6～8	ヒューマンインタフェースシンポジウム2023
3	協賛	一般社団法人日本機械学会(幹事学会)、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会	2023/9/19～21	LIFE2023
4	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2023/9/29～10/1	日本福祉のまちづくり学会 第26回全国大会
5	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2023/10/14	第20回ケアリフォームシステム研究会 全国大会in愛知
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2023/11/10～12 (現地開催) 2023/11/13～12/17 (Web開催(オンデマンド配信))	第57回日本作業療法学会
7	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2023/12/14～16	第24回SICEシステムインテグレーション部門講演会

※下線は新規

【別紙】

支部の 2023 年度事業計画

東日本支部

1 概要

昨年度に引き続き今年度も、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。東日本支部は、広域であり、会議・セミナー・勉強会などについては、Web 会議システムなどを活用したいと考えている。東日本大震災などの災害の経験を活かして、地域 JRAT と支部の協力体制を構築していきたい。

関東・甲信越支部

1 概要

関東・甲信越支部活動として、昨年度より掲げている「災害対策キャンプ」のテーマを継続していく。その中で、食事に限らず寝泊まりや排泄といった必要な動作場面を環境や道具などを支援者や当事者の視点で整理し、Web 会議システム等を用いた会議・セミナー・勉強会の場で情報発信や意見交換することを計画していく。

2 主要事業

(1)災害対策キャンプの企画・運営

時期:未定

場所:未定

内容:災害時、避難先での寝泊まりや食事、排泄などを想定した道具等の利用検証や意見交換会を実施予定

3 その他

(1)支部役員会の開催

日時:必要に応じて開催

場所:Web 会議形式を予定

内容:2022 年度の事業報告・決算報告、2023 年度の事業計画案・収支予算案についての検討や各イベントの企画調整等

4 2023 年度支部役員体制

代表: 沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター:継続)

幹事: 水澤二郎(一般財団法人啓成会:継続)

深野栄子(日本リハビリテーション工学協会:継続)

麸澤孝((有)セカンドステージ:継続)

植田瑞昌(日本女子大学:継続)

片石任(株式会社フロンティア福祉本部:継続)

河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンター:継続)

鈴木明子(野のすみれクリニックリハビリテーション科:継続)

岡野善記(継続)

石濱裕規(医療法人社団永生会:継続)

森田千晶(継続)

事務局:神奈川リハビリテーション病院研究部内 村田知之

連絡先:kkse@resja@or.jp

中部支部

1 概要

年間 2 回程度の支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

2 主要事業

支部セミナーの開催

①開催日:2023 年(実施日未定)

場所:ハイブリッド開催(会場は愛知県内(予定))

テーマ:ハイブリッド福祉用具見学会

講師:中部支部会員

②開催日:2023 年(実施日未定)

場所:ハイブリッド開催(会場は未定)

テーマ:機器活用勉強会および事例検討会

講師:中部支部会員

3 他学会等の事業への後援・協賛・協力

後援・協賛・協力依頼等があれば、随時検討する

4 その他

支部役員会の開催(随時開催予定)

場所:基本的にオンラインにて実施する

5 2023 年度支部役員体制

代表:渡辺崇史(日本福祉大学:継続)

幹事:北野義明(石川県リハビリテーションセンター:継続)

安田秀一(金沢市社会福祉協議会:継続)

長束晶夫(なごや福祉用具プラザ:継続)

事務局:日本福祉大学(渡辺)

連絡先:chubu@resja.or.jp(渡辺崇史)

関西支部

1 概要

年間 1 回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、バリアフリー2024 の出展協力や協会主催セミナーの開催などの協会活動への協力を行い、リハビリテーション工学及び福祉用具・住環境整備等に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

2 主要事業

(1)支部セミナーの開催(年間 1 回程度)

2023 年度関西支部セミナー

開催日:2024 年 3～4 月ごろ

場所:未定

テーマ:住宅・住環境整備

講師:未定

(2)バリアフリー2024 運営協力およびプレゼンテーションセミナーの開催

開催日:2024 年 4 月 17 日(水)～19 日(金)

場所:インテックス大阪

テーマ:未定
内容:ブース運営スタッフの派遣、プレゼンテーションセミナーの開催など
(3) ニーズ・シーズマッチング交流会 2023(大阪)運営協力
開催日:2023 年 11 月ごろ
場所:未定
内容:ブース運営スタッフの派遣
3 他学会等の事業への後援・協賛・協力
今のところ予定なし
4 その他
(1) 支部役員会の開催
日時:2024 年 4 月ごろ
場所:オンライン会議、もしくは対面会議(大阪、神戸)
内容:2023 年度の事業報告・決算報告、2024 年度の事業計画案・収支予算案について、支部セミナー等の企画検討など
5 2023 年度支部役員体制
支部長: 相良二朗(神戸芸術工科大学:継続)
副支部長: 剣持 悟(川村義肢株式会社:継続)
宮野秀樹(非営利活動法人ぽしぶる:継続)
幹事: 赤澤康史(兵庫県立福祉のまちづくり研究所:継続)
金井謙介(神戸学院大学:継続)
島本 卓(兵庫頸髄損傷者連絡会:継続)
中村俊哉(兵庫県立福祉のまちづくり研究所:継続)
林威智郎(川村義肢株式会社:新規)
松田靖史(川村義肢株式会社:継続)
事務局長:糟谷佐紀(神戸学院大学:継続)
連絡先:〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学総合リハ学部糟谷研究室
078-974-1920(Tel/Fax)、kansai@resja.or.jp

中国・四国支部

支部代表退任に伴い、早期に組織の編成を行い、今後の活動計画の策定に努めたい。中国・四国支部は会員登録数も少なく、会員獲得に向け、引き続き本部と連携し、体制構築に向け検討していく予定。

九州支部

1 概要

年間 1 回程度支部セミナーを主催するとともに、各種勉強会を開催する。さらに、関係諸活動の後援など、リハビリテーション工学及び福祉機器に関わる研究や知識・技術等の普及・啓発を図る。

2 主要事業

支部交流会の開催
九州支部オフラインミーティング
開催日:2023 年 11 月(未定)
場所:西日本総合展示場(予定)
※西日本国際福祉機器展において、展示ブースを巡りながら出展社および来場者(リハ工学協会会員も含む)と

ディスカッションする

※該当展示会が開催されない場合は、代替イベントを開催します

3 他学会等の事業への後援・協賛・協力

依頼があれば検討

4 その他

支部役員会の開催

主としてメーリングリストで意見・情報交換を行う。適宜、Web 会議を開催する

5 2023 年度支部役員体制

代表: 小林博光(総合せき損センター:継続)

スタッフ: 江原喜人(総合せき損センター)

辻奈美(純真学園大学)

山形茂生(コネクト リハビリテーション)

連絡先:koy@resja.or.jp

【資料5】

第4号議案 2023 年度収支予算計画(案)

2023年度　予算案

収入

コード	勘定科目	2022年度	2023年度	前年比
	＜入会金収入＞	50,000	50,000	0
1411	入会金(今年度分)	50,000	50,000	0
1412	入会金(前納分)	0		0
	＜会費収入＞	7,600,000	6,605,000	△ 995,000
416	一般会費(今年度分)	5,600,000	5,350,000	△ 250,000
1416	一般会費(前納分)	1,000,000	250,000	△ 750,000
1417	一般会費(下半期分)	100,000	125,000	25,000
1419	一般会費(過年度分)	100,000	180,000	80,000
1420	学生会費(今年度分)	80,000	80,000	0
1422	学生会費(下半期分)	20,000	20,000	0
1423	賛助会費(今年度分)	100,000	600,000	500,000
1424	賛助会費(前納分)	600,000	0	△ 600,000
	＜事業収入＞	2,202,000	2,002,000	△ 200,000
421	書籍頒布	100,000	100,000	0
422	協会誌広告収入	160,000	130,000	△ 30,000
423	協会誌掲載料	130,000	160,000	30,000
1430	購読ｻｰﾋﾞｽ会費今年度	110,000	110,000	0
1431	購読ｻｰﾋﾞｽ会費(前納分)	52,000	52,000	0
―	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ関係収入	200,000	200,000	0
428	ｾﾐﾅｰ収入	350,000	150,000	△ 200,000
426	事業費雑収入	500,000	500,000	0
429	その他の協賛金	600,000	600,000	0
	＜雑収入＞	5,000	705,000	700,000
471	受取利息471	5,000	5,000	0
472	雑収入472	0	0	0
	SIG統合	0	700,000	700,000
	【合計】	9,857,000	9,362,000	△ 495,000

※△が減額

部門別支出

No.	部門名	所属組織	2022年予算	2023年予算調整後	前年比削減額
1	理事	理事会	880,000	730,000	150,000
10	事務・管理	総務系	1,718,786	1,798,786	▲ 80,000
15	組織管理	総務系	210,000	0	210,000
20	広報	総務系	778,620	40,340	738,280
25	国際関連	事業系	360,000	268,000	92,000
30	企画推進	事業系	630,000	200,000	430,000
35	専門委員	事業系	580,100	349,110	230,990
40	SIG	事業系	550,000	500,000	50,000
50	支部	事業系	300,000	300,000	0
60	事業管理	事業系	625,000	1,215,000	▲ 590,000
70	カンファ・コンテ	事業系	237,500	187,000	50,500
80	協会誌	事業系	2,960,000	2,880,000	80,000
85	受託事業	事業系	0	0	0
90	予備・その他	その他	0	150,000	▲ 150,000
40	SIG統合	事業系	0	700,000	▲ 700,000

※▲が増額

総合計	9,830,006	9,318,236	511,770

2022予算収支	26,994
2023予算収支	43,764

【資料6】

第5号議案 新役員の承認について

現役員の任期は 2023 年度定時社員総会までとなっています。本来であれば、2023 年度役員候補者選挙の結果を踏まえて、理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する、と定款第 34 条において、定められておりますが、今回の選挙におきまして、理事会の選挙関連業務に関する不手際もあり、選挙の実施が大幅に遅れてしまいました。大変申し訳ございません。

つきましては、「第 5 号議案 新役員の承認について」の審議は、別途、臨時総会を開催させていただき、対応させていただきたいと考えています。臨時総会の開催詳細につきましては、また追って協会ホームページ等でご案内させていただきたいと思います。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、どうぞご協力の程、よろしくお願いいたします。

＜理事候補＞

・伊佐拓哲	ジェイワークアウト株式会社
・植田瑞昌	日本女子大学
・江原喜人	総合せき損センター
・桂律也	社会医療法人社団三草会クラーク病院
・金井謙介	神戸学院大学
・河合俊宏	埼玉県総合リハビリテーションセンター
・北野義明	石川県リハビリテーションセンター
・小島みさお	東京都健康長寿医療センター研究所
・小林博光	総合せき損センター
・鈴木太	愛媛頸髄損傷者連絡会
・中村詩子	横浜市総合リハビリテーションセンター
・早川康之	北海道科学大学
・村田知之	神奈川県総合リハビリテーションセンター
・森田千晶	
・渡辺崇史	日本福祉大学

＜監事候補＞

・伊藤和幸	国立障害者リハビリテーションセンター研究所
・水澤二郎	一般財団法人啓成会

＜会計監査人＞ 定款第33 条第2 項により、会計監査人は設置していないため候補者はなし。

--------以下、役員選出に関連する規則の抜粋である(2017.8.1現在)----------

【定款】 第34 条

理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。

(補足)

(役員の設置等)

第33 条当法人に、次の役員を置く。

(1) 理事11 名以上15 名以内

(2) 監事2 名

2当法人に、会計監査人を1 名おくことができる。

3理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、1名を副会長とすることができる。

4理事のうち、若干名を業務執行理事とする。